

報道関係各位

2006 年 10 月 16 日
株式会社 構造計画研究所**構造計画研究所 社会ニーズが高まる安全対策・防犯に特化したソリューションの展開を開始****～ 監視向け画像処理ソフトウェア CamIQ を新販売 ～**

Security Solution2006 (10 / 18 ~ 20、東京ビックサイト)、危機管理産業展 (10 / 24 ~ 26、東京ビックサイト)、新製品発表セミナー (11 / 7、構造計画研究所) にて発表いたします。

株式会社 構造計画研究所 (本社 : 東京都中野区、資本金 10 億 1,020 万円、代表取締役社長 : 服部正太、以下 : 構造計画研究所) は、高性能ビデオ監視システム「CamIQ (カムアイキュー)」の国内販売を開始します。構造計画研究所は高度な画像処理技術を駆使したビジネスを展開するなかで、2005 年より画像処理技術を用いて移動体の検出を行うビデオセンサーシステム「Vitracom SiteView (ヴィトラコムサイトビュー)」を販売しております。また、2006 年 7 月には「Vitracom SiteView」の開発元であるドイツの Vitracom AG (本社 : カールスルーエ、CEO : Dr. Peter Klausmann) に資本参加を行い、より密接な協力関係を元にした戦略的なビジネス展開を行う一環として、今回、画像処理技術を防犯向けに特化した CamIQ の販売を開始します。CamIQ は昨今の防犯意識の高まりに対応したソリューションであり、本製品を利用することで、セキュリティ対策の高度化、迅速化をサポート致します。

構造計画研究所は、日本語版製品の開発並びに販売、技術サポートサービス、カスタマイズサービスを提供すると共に、既に販売しております「Vitracom SiteView」や、弊社の強みである画像処理技術・システム構築技術を組み合わせたトータルソリューション提案を多業界に向けて戦略的に推進し、CamIQ の販売及びシステムコンサルティングにて初年度 5000 万円、次年度 1 億円の売上げを見込みます。

■ CamIQ の概要

「CamIQ」は、カメラ映像にソフトウェアによる検知機能を付与します。映像に対して、侵入者が発見されると警告を発し、その映像の記録を行うことが出来ます。低価格な撮影機器を用い、高性能でかつ高機能な監視カメラに相当する威力を付与させることができます。利用できるカメラも、ネットワークカメラ、アナログカメラなどさまざまな種類に対応しております。これにより、長時間にわたりモニタを人が監視しなければならない監視業務の負荷を激減させるとともに、見落としがなくなりセキュリティレベルを格段に向上させることが可能になります。また、巡回機能や情報送信機能も充実しており、検知結果をリアルタイムに連絡・通報することも可能です。さらに、外部インターフェイスをオプションとして備えているので、既に導入済みの防犯システムへの連携が容易です。例えば、照明器具、ゲートシステムと連携させることが、大幅な投資を行うことなくシステムのアドオンのみで実現できます。

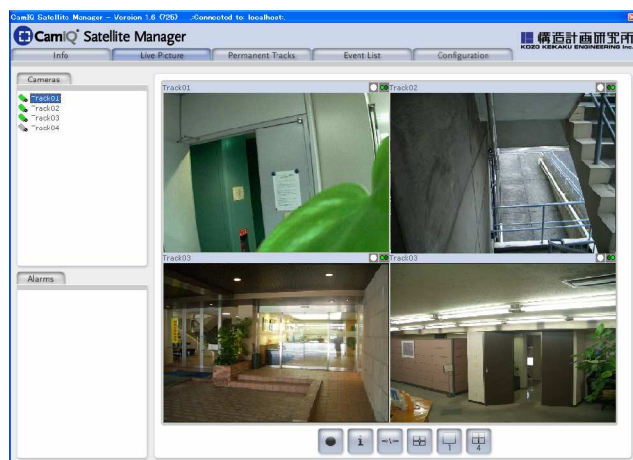
その他、不審の検知前後の映像を動画で記録できるため、侵入の直後にさかのぼり、映像の検索機能を用いて、詳細な行動の分析により防犯対策の基礎データとしても活用することも可能となります。本製品は「Vitracom SiteView」と連携することも可能であり、持ち取り、置きざり検知などの高度な機能との連携も可能です。本製品を利用することで、以下のようなニーズに応えることが可能です。

- ・ 追加的なコストをかけずに自営監視を行いたい
- ・ 非常に広域で警備コストがかかりすぎるため、システム化で警備コストを抑えたい
- ・ セキュアなゾーンは自分自身で監視したい

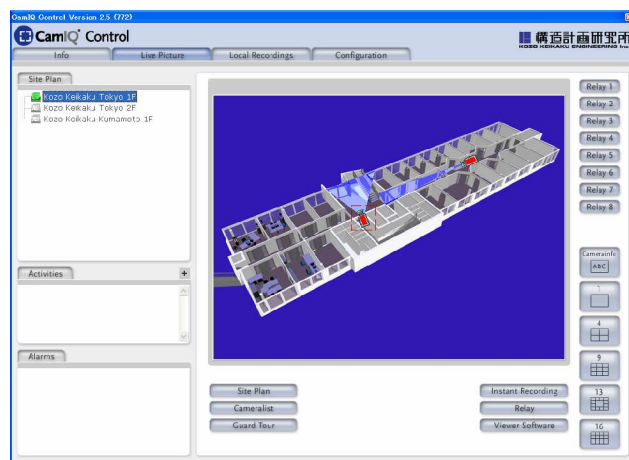
<主な機能>

CamIQ は、WindowsXP 上で稼働するソフトウェアです。検知機能が充実した「CamIQ Satellite」と、総合的な監視モニタとしての役割を果たす「CamIQ Control」の2製品があり、それぞれ単体で利用することも可能です。

- CamIQ Satellite の代表的な機能
 - ネットワークカメラ、アナログカメラに移動物体を検知する機能を付与
 - ハードディスクへの常時記録機能
 - 検出結果のログ出力並びに検出動画データの確認、外部出力機能
 - 画像センサーと連動した、画像付メール送信機能
 - 日付、時間指定による設定変更機能（スケジュール機能）
 - 記録したタイムスタンプの検索、認識領域の位置指定による高速画像検索機能
 - 外部インターフェイスによる各種センサーとの連携機能
- CamIQ Control の代表的な機能
 - 標準で 25 台のカメラの接続、最大 1000 台以上のカメラと連携可能
 - 巡回機能による自動巡回
 - 配置見取り図にカメラやカメラの撮影エリアを設定し、監視状況を把握できるレイヤー管理機能
 - レイヤー機能で設定された機器の検知状態をリアルタイムに確認する機能
 - 外部インターフェイスによる各種センサー（音センサー、カメラにある物体検出機能との連携、煙センサーなど）との連携機能



CamIQ Satellite



CamIQ Control

■ 販売価格

CamIQ Satellite ¥280,000～

CamIQ Control ¥300,000～

リリース時期は英語版が10月末、日本語版が12月中旬を予定しております。

■ CamIQ が見られる展示会とセミナー

日経 BP 社主催 「Security Solution2006 (10/18～20、東京ビックサイト)」

東京ビックサイト主催 「危機管理産業展 (10/24～26、東京ビックサイト)」

構造計画研究所主催 「新製品発表セミナー (11/7、構造計画研究所)」

詳細は下記問い合わせ先、もしくは弊社ホームページをご覧ください。

■ Vitracom AG について

2000年創立。画像認識技術を核とした製品ならびにカスタムソリューションをヨーロッパ中心に提供。コンシューマーから軍事用までと、幅広いカスタマー層にソリューションを提供できる高い技術力を有しています。創立以来、主力製品である「SiteView」は、ドイツ中心にヨーロッパにおいて累計1,000セットを超える販売実績を挙げ、ここ数年で目覚ましい成長を遂げている。

(<http://www.vitracom.de>)

■ 構造計画研究所について

1959年設立。現在、ネットワーク、マルチメディア、情報通信、移動体通信分野から建設、製造分野に至るまでの広範かつ最新のIT技術を駆使したソフトウェア開発ならびにソフトウェアプロダクトを提供。さらにOR・シミュレーション手法を用いた工学・製造分野におけるコンサルティングサービスやマーケティング分野におけるコンサルティングサービスも行っています。また建設・環境分野における数値解析コンサルティングサービスや建築・構造設計分野でも強みを発揮しており、様々な業界に対し、多様なソリューションを提供しています。

本件に関する問い合わせは下記をお願いします。		
	製品および販売について	ニュースリリース配信元
担当者	株式会社構造計画研究所 可視化ビジネス部 高幣玲児 中村保則	株式会社構造計画研究所 営業戦略部 佐藤仁宣 松本飛鳥
TEL	03-5342-1027 (直) 03-5342-1100 (代)	03-5342-1032 (直) 03-5342-1100 (代)
FAX	03-5342-1232	03-5342-1222
e-mail	camiq@kke.co.jp	kkeinfo@kke.co.jp
住所	〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3	〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13
HP	http://www4.kke.co.jp/camiq	http://www.kke.co.jp

構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。

その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。